

<教育利用> ② 2年技術科の実践**【ガイドライン】（活用が考えられる例）**

⑥発展的な学習として、生成AIを用いた高度なプログラミングを行わせること。

【学習テーマ】

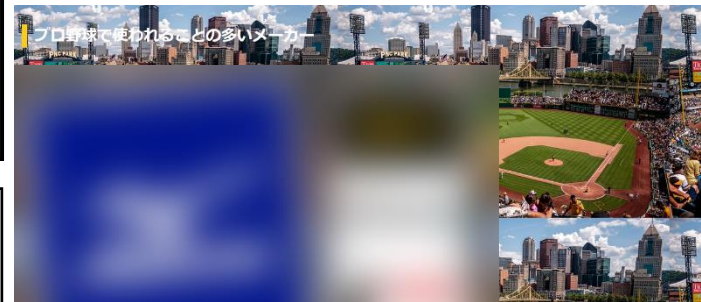
双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決をしよう。
（Webサイトの作成）

【概要】

身の回りにある問題を情報の技術を使って解決することを目的として、Webサイトを作成する課題に取り組みました。民間企業の学習コンテンツを使ってWebサイト作成に必要なHTML、CSS、JavaScriptの基礎的な知識を学習後、生徒一人一人が課題を設定し、Webサイトを自由に制作しました。その際、ChatGPTを使用して、プログラミングに必要な難解なコードを部分的に生成し、オリジナルのWebサイトを作り上げました。

【活用の流れや工夫点、生徒の様子等】

Webサイト作成に必要なすべてのコードを生成させるのではなく、難解な部分のコードだけを生成し使用することで、実際の動作を細かく確認でき、プログラムの理解にもつながりました。この実践後、生徒会役員の生徒が校内Webサイトを作成する際に、部分的にChatGPTを活用し作成することができました。



実際に作成したWebサイトのページ